

小野田支部事業報告

支部長 井上孝子

活動目標	1) 地域における看護職の連携強化と看護力の向上
評価と今後の課題	教育研修は予定通り行い、内容も好評であった。まちの保健室は、開催場所など検討した。地域の健康増進に役立てるよう今後も活動していく。会員数増加に向けたアピールが足りなかった。在宅療養支援のための看護職連携推進検討会では、多職種の活動を知り連携推進に繋がった。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1) 一般教育研修(教育委員会主催) (1) R8.2.4「災害発生時の初動対応力を高める」 受講者 116人 (2) R8.7.11支部集会后 「訪問診療」「終末期ケア」予定
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	2) 働き続けられる職場づくり支援 (1) 県協会主催研修等参加を促進 (2) 看護職の就業促進 「まちの保健室」「SOS健康フェスタ」でパンフレット等を配布 各病院で看護学校訪問
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1) 「看護の日」「看護週間」行事を開催 各施設で実施 2) 「国際助産師の日」「いいお産の日」行事開催は中止 3) 「まちの保健室」開催 R7.9.13 4) 山陽小野田市主催「SOS健康フェスタ」 展示ブース参加 R7.11.16 5) 看護体験実施 各施設で開催 6) 在宅療養支援のための看護職連携推進検討会(宇部市と合同) 検討会 3回 R7.6.27 R7.9.26 R8.2.6 訪問看護ステーション実習実施 3名
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業)	1) 表彰候補者の推薦 2) 支部交流会 中止
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益／収益等／法人)	1) 支部集会 R7.7.19 参加者23人 委任状429人 2) 支部役員会 4回 3) 支部委員会 職能委員会 4回 教育委員会 4回 推薦委員会1回 4) 支部活動の充実 (1) 宇部・小野田医療圏 地域医療構想調整会議等の出席 (2) 看護学校戴帽式・卒業式臨席 5) 広報活動 県協会会報「きらめき」への投稿